

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構

組織概要：

- 設立：2004年2月29日
- 沿革：
石油・天然ガス安定供給の役割を担ってきた石油公団および非鉄金属鉱物資源の安定供給の役割を担ってきた金属鉱業事業団の機能を集約して設立。
- 組織目標：
国際的な資源獲得競争が激化する中、我が国企業による資源開発の支援及びセキュリティの最後の砦としての資源備蓄の両輪を通じ、資源の多くを海外に依存する我が国の安定供給に貢献すること。
- 活動概要：
石油・天然ガス、石炭、金属鉱物及び地熱資源開発に係る金融支援及び技術開発・支援、資源備蓄、環境安全・鉱害防止、情報収集・提供 等
- 重点対象：
(石油・天然ガス開発セグメント) 産油ガス国、今後LNG需要の増大が見込まれるアジア諸国等

設立：2004年2月29日

理事長：細野 哲弘

所在地：東京都港区虎ノ門二丁目10番1号

参考URL:<http://www.jogmec.go.jp>

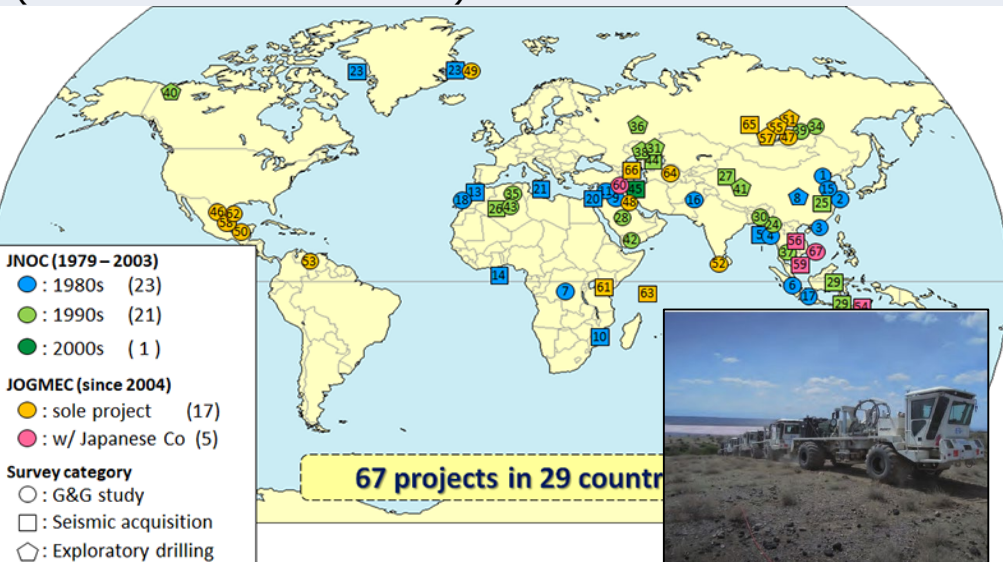
海外地質構造調査/技術開発事業(共同研究)

海外地質構造調査

- 外国政府や国営石油会社からの要請、または JOGMECからの働きかけにより、地質調査・物理探査等の実施や既存データの入手を行い、対象地域のポテンシャルを評価。
- 調査を通じ、対象地域の技術的リスクを低減するとともに、日本企業に優先交渉権等を引き継ぐことで、海外油・ガス田開発の促進を図る。

実績

(JOGMEC設立以降)：ケニア陸上、アゼルバイジャン陸上等。
 (旧石油公団で1979年以降)：29カ国計67件実施。

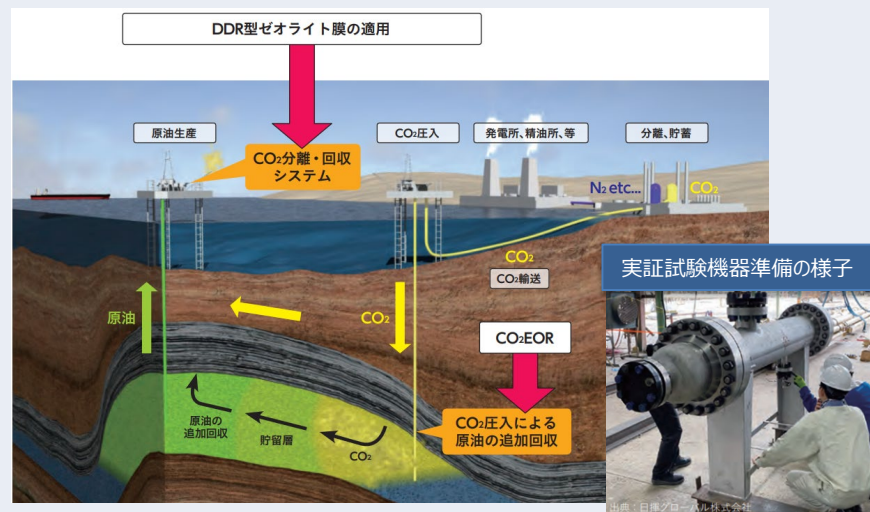


技術開発(共同研究)

- わが国の石油開発技術力向上のために継続的な技術力の蓄積、迅速な操業技術支援、産油国との共同研究推進、新規プロジェクト開拓への支援等に努めている。
- 原油回収率向上技術分野、海洋開発分野、非在来型油ガス田開発技術分野、環境対策技術分野の4つの重点技術分野を定め、技術力やサービスおよび制度の強化、向上を図っている。

実績

米国テキサス州のCO₂-EORフィールドで、随伴炭化水素ガスからのCO₂分離にDDR型ゼオライト膜を適用し、CO₂分離・回収性能の実証試験を実施中。



担当部署：企画調整部 技術企画課 (03-6758-8022)

参考URL：http://www.jogmec.go.jp/oilgas/technology_001.html

担当部署：探査部 海外探査課 (03-6758-8025)

参考URL：http://www.jogmec.go.jp/oilgas/field_surveys_003.html

資源国との関係強化/情報分析・発信

資源国との関係強化

- 資源国政府要人や国営石油・ガス会社とのトップ会談等により、探鉱開発支援、技術協力、人材育成等の協力枠組み(MOU)を構築。
- 国際会議や国際展示会に積極的に参加するとともに、研修生歓送迎会・同窓会等を開催することで、日本の資源業界やJOGMECのプレゼンスを高め、資源国との関係を強化。

実績：(MOUの構築) 14か国18件を継続中(2021年3月末時点)

MOU構築の様子



研修生歓迎会の様子



国際会議の様子



研修生同窓会の様子



担当部署：企画調整部 企画課 (03-6758-8022)

情報分析・発信

- 探鉱・開発関連情報に関する公的知識・情報センターとして、我が国企業等の探鉱・開発戦略及び政府の資源外交戦略の検討・立案へのニーズに合致する、産油ガス国に特化した情報収集・分析・提供を実施し、世界の資源エネルギー情勢や産油ガス国の法税制、新規鉱区公開情報、国際石油会社の動向などについて継続的な調査事業を実施。



JOGMEC石油・天然ガス資源情報

メール配信登録

<http://oilgas-info.jogmec.go.jp/>

<https://mdh.fm/e?ka603DJIdT>

担当部署：調査部 調査課 (03-6758-8024)

参考URL：http://www.jogmec.go.jp/oilgas/providing_info_001.html

産油国技術者等研修等事業

事業の概要

- 1989年5月以来、産油ガス国等との関係強化を通じて、将来的な石油・天然ガスの安定供給確保に資することを目的に、「資源外交上重要な国」を対象に研修を実施。（52か国より合計4,288名を招聘。（2021年3月末時点））
- 提供する研修は、「通常研修」及び「特別研修」に分類。

1. 通常研修

概要：産油ガス国を幅広く招聘し、石油開発上流分野における主要4技術（物理探鉱、掘削、油層工学、探鉱地質）の講義を実施。

期間：約8週間/回
 参加人数：25名程度/回
 招聘国：資源外交上重要な国から各1、2名程度
 開催地：JOGMEC技術センター（TRC）他
 開催頻度：上記主要4技術の内、各年度1～2回

研修の様子



通常研修「油層工学コース」
修了式



通常研修「掘削マネジメントコース」
講義風景

2. 特別研修

以下の2種類を実施。

- ① 石油天然ガス資源の有力な供給国、油田権益の獲得・延長が期待される国を対象に、相手国の要望するテーマに係る研修。＜近年の実施例＞ UAE、モザンビーク、アゼルバイジャン 他
- ② 我が国政府の推進する柔軟かつ透明性の高いLNG市場の育成・発展に貢献するための研修。
 - LNGバリューチェーン研修（TRC 他にて実施）
アジア諸国の政府関係者を招聘し、LNGバリューチェーンや、LNG受入基地関連技術に関する必要な基礎知識を幅広く習得してもらう目的で実施。
 - LNGテーラーメイド研修（実施対象国にて実施）
各国のLNG利用における課題等への対処を旨とし、LNG受入施設に係る法規制、トレード等に関する内容。



特別研修「アゼルバイジャン研修」
講義風景



特別研修「LNGテーラーメイド研修
フィリピン現地専門家派遣」講義風景